



山陰教区若寺族婦人研修会 (平成25年7月17日(水)・鳥取因幡組妙圓寺)

寺 婦 の ひ ろ ば

第 16 号

山陰教区
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子

坊守のめざめ

高岡教区若神組 善興寺坊守 飛鳥 一枝

花の便りの聞かれるきょうこのごろ、山陰教区寺族婦人会連盟の皆さまにおかれましては、ご健勝にて聞法の日々をお過ごしのことと存じ上げます。昨年七月には「山陰教区若寺族婦人研修会」の講師としてお招きいただき、私のつたない経験や思いを聞いてくださり、また講題の「坊守のめざめ」について、話し合いの場を設定させていただきましてありがとうございます。ありがとうございました。

初めて訪れた鳥取の地は、北陸とは違う色合いの海に面し、大陸と往来した古代からの歴史が偲ばれ、街並みは民芸の香りがしました。山陰教区は組内の寺院と寺院の距離が何十キロもあり、平素は交流が少ない皆さまが集まられる貴重な研修会で、何をお伝えできるか不安でいっぱいでした。私は、四十年の自分の歩みを聞いていただくことしかできないと思いました。嫁いだころは出口の見えないトンネルの中にひとり残されたような辛い思いをしました。が、子どもたちの成長と共に少しずつお寺の外に出ていきました。

教区の寺族青年会の友だちと活動をしたり、自坊の仏教婦人会や子ども会で、毎月皆さんと仏参を行っていました。長い年月が経ったあるとき、いつのまにかお念仏の出る自分に育てていただいていることに気づかされました。家族や周りの人たちとの喜怒哀楽の交流の陰に、常に私を信じつつまでも待つて下さる阿弥陀如来様が寄りそってくださることに喜べるようになったのです。

研修会の後半は、参加された皆さん全員が「坊守のめざめ」について対等に意見を出せるようにファシリテーションの技法を使って話し合いをしました。人と人とお互いの心に眠る思いを引き出し、活かし合うこの技法によって、五つの班に分かれた皆さんはご自分の意見を率直に出し合い、最後に班ごとにまとめて発表してくださいました。自分の「めざめ」について考えることは楽ではありませんが、真剣に取り組んでくださったみなさんが、ご自分の「坊守のめざめ」に挑戦されることを願っています。

合掌

若寺婦研修会に参加して 『ファシリテーション』とは

鳥取因幡組 浄徳寺

吉 岡 真 紀

「○○さんこんにちは。私は××です。」

参加者はいくつかのグループに分かれてテーブルを囲み、自己紹介をしながら自分の手元から名前を呼んだ相手にボールを転がす：

楽しそうな笑い声が本堂内に響きます。

本年度の教区の若寺族婦人研修会は鳥取因幡組の担当で、平成二十五年七月十七日(水)、鳥取市内の妙圓寺さまを会所として開催されました。参加者二十九名、テーマは『坊守のめざめ』

ご講師として高岡教区若神組善興寺坊守 飛鳥一枝先生をお迎えしました。

テーマを決める際には、今一番私たちが身近に思えるテーマをと考え、現坊守として、または次期坊守を担う私たち若寺族婦人が、お寺の中での役割は何かという問いかけに、何か答



えを見つげるためのヒントがいただけたりということから、全国坊守・寺族女性連合会のメンバーとして数多くの坊守の方々と接してらっしゃる飛鳥先生にお願いしようと思いました。

午前中のお話では先生の生い立ちから始まり、お寺へご縁があつて嫁がれた経緯、そして現在坊守としての取り組み等をお話してくださいました。

午後からは、先生が取り組まれている『ファシリテーション』の技法を実践から学びました。『ファシリテーション』とは、人が集まつて何かをしようとする

るとき、一人ひとりの中に眠る経験、知恵、取り組み意欲等を引き出して、話し合いの中から創造的な成果を生み出すという方法です。

今回は、冒頭で紹介しましたボールを使った自己紹介で、初対面の方とも言葉を交わせるようになり、緊張していた気持ちもいつしか解けて語り合えるようになりました。

そこで最初にしたこと、中央に積まれたメモに、問題提起された〈現在のお寺の問題〉をそれぞれが思いのままに記し、その内容を類似しているものとまとめ、大きな紙に貼っていくという作業をしました。

そしてそのまとまった問題を受け、次に〈これからのお寺はどうすべきか〉ということに対するの考えや具体的な解決策を書いてみました。

各々の考えていることがメモには率直な意見としての自分の考えを書き表すことができたように思われました。

まさに『ファシリテーション』の技術で参加の場をつくり、自



分の考えを伝えることができたのです。

今回の研修会で学んだことは、個々のお寺の問題と想っていたことが個々の問題ではなく、どこにあつてもおかしくはないことであり、ひいては全体の問題でもあること。その中でお手継ぎをさせていただく私たちは、坊守として、また寺族としての立場を意識していかなければならないということを受けとめて、改めて考えることが大事なことだと気づかされた、そんな時間となりました。まさに『坊守のめざめ』のきっかけとなつたことでした。

中村博士の研究に感銘 〜寺族婦人研修会〜

松江組 徳応寺

橘 真紀子

三月五日、山陰教堂と中村元記念館を会場として山陰教区寺族婦人研修会が開かれました。私たち松江組は担当組として半年前から研修会の準備を進めて参りました。多数の参加者を募ろうと、智恵を絞り一丸となつて計画を立てました。お陰さまで定員六十名が締切日を待たずに全部埋まってしまいました。

中村元記念館は、教堂から移動距離もあり、冬期のため天候も心配で研修会場とするかどうか悩みました。しかし、是非とも松江出身の中村元博士の、開館したばかりの記念館で開催したいという思いが強くここに決まりました。

研修会では、中村元東方研究所研究員、東方学院講師の上野敬子先生が中村元先生の功績と考え方をエピソードも交えながら私たちにもわかりやすくお話し下さいました。

中村先生の名前しか知らなかった私にとって、博士の国境を越えた仏教研究に触れることができ深い感銘を受けることができました。皆様にとつても有意義な講演会になったのではないかと思います。

親睦会では、宍道湖畔の老舗料亭名物「鯛飯」を召し上がっていただきました。また、余興



のふれあい体操ではお互いにスキップも取れて、心もからだも温かくなりました。アンコールがでるほど盛り上がり歓声が上がっていました。短いひとときでしたが充分に堪能してい

ただけたことと思います。この研修会が、山陰教区の寺族婦人である私達が親しくふれあい、協力しあつて御法義を広める一助になればと願っております。

参加者の声

〜今回の研修の内容について〜

- ▽松江出身の偉大な先生のお話をうかがい、大変感動いたしました。慈しみを抱いて生活したく存じます。
- ▽中村先生の功績に感動した。
- ▽中村先生について詳しく学ぶことができ、生涯をかけたことを理解したように思う。充実した研修内容だったと思う。
- ▽仏教のイメージ、難しいを少しでもわかり易いものにしていきたいと思い、努力精進する気持ちを新たに
- ▽松江市出身の偉大な先生のことを知ることができた。
- ▽中村先生が同門だったことを知って感激した。
- ▽宗派を超えた「仏教」の大切さを学んだ。
- ▽ゲームが子ども会や法座のレクリエーションの参考になりよかった。
- ▽顔はわかるが、何組のどんなの思いがあり、「名札」があればいいなと感じました。
- ▽坊守間でのつながりが大変良くできましたこと、有り難い時間でした。

実りある機会に接して 寺族婦人研修会

佐波組 西光寺

旭 林 久美子

三月五日に開催されました研修会に、佐波組七名で参加させて頂いたできました。

事を勤めておられる松江組真光寺ご住職より、ご住職と中村元先生とのご縁にまつわるお話も



私は不勉強の為、中村元先生を詳しく存じ上げませんでした。上野敬子先生より「中村元に学ぶブツダの教え」をテーマにご講義をいただき中村元先生について知識を深めることが出来ました。

最後の「仏教は、中村元も心ひかれた普遍的な意義をもった宗教」の言葉に思いを巡らす機会となりました。又、中村元記念館NPO理

移し、名物家伝鯛めしを頂きながらの懇親会となり、大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。席決めは頭の体操？レ

うかがい、平素は公開されていない中村元先生の蔵書三万冊の保管室も見学させていただき、大変有難いことでした。研修会後は松江皆美館へ会場を

クリエーションは体の体操、運だめし？と趣向を凝らした演出がちりばめてあり、お蔭様で日頃お会いする機会の少ない皆様ではあります。すぐに親しく和やかにお話しさせていただくことが出来ました。

ささせていただきます。この度の研修会を担当されました松江組寺族婦人会の皆様のおもてなしに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後の研修会について

- ▽年度末に寺族婦人研修会で締めくくるという意味では、自分の気持ちの上で一年の締めくくりになるので、とても良い時期だと思います。
- ▽反面、外はまだまだ寒く、もう少し気候が良ければ参加しやすくなると思う。
- ▽一泊研修があればいい。
- ▽他の宗派の話も聞いてみたい。
- ▽いじめ・自死など悲しいの今、こんな時浄土真宗のみ教えをしつかり受け止め、

- 生きていくうえで大事な教えであることを教団あげて取り組みましょう。
- ▽「こぶしの森」に行つてみたい。
- ▽浄土真宗寺院の坊守の自覚を確認できるような内容を。
- ▽開会・閉会だけに時間をかけない内容のある研修を！
- ▽参加型ゲームなどを沢山取り入れたもの。
- ▽お楽しみと研修が良いです。
- ▽会費を上げてでも楽しい会（会食付き）が年一回あつてもよろしいかと存じます。

東北へのボランティア

経緯と報告

山陰教区寺族婦人会連盟委員長 吉田真子

昨年十月の中・四国地区仏教婦人会大会には寺婦の皆様にご協力を頂きありがとうございました。大きな会をすることは本当に大変ですが、それだけに得るものも大きいと感じました。

本年度の二つの研修会は、各担当組の皆様のお蔭により、実りある研修となりました。感謝申し上げます。研修会でのアンケートの皆様の声を次の研修会に活かしていきたいと思えます。

昨年度まで研修会で集めさせていただいたダーナ献金は、仏婦のダーナへ納めていました。

今年度の常任委員会において、忘れがちになっている「東日本大震災、福島原発事故」を再認識するために寺族婦人会で何かできることはないか、被災者の方々に思いを寄せていることをお伝えできる手立てはないもの

かといろいろ話し合い、インターネットで調べていただきましたところ、東北教区ボランティアセンターへお茶会支援（お菓子送付）があることがわかりました。仙台別院や数か所の仮設住宅で月に一〜二回のお茶会活動をされており、「各地の特産品（お菓子類）を大募集中！」とあったのです。

さっそく昨年七月の若寺族婦人研修会でのダーナ献金で鳥取、島根特産のお菓子を送らせていただきました。また、今年三月の寺族婦人研修会でのダーナ献金も引き続きお菓子を送ることといたしました。

今後実践運動として寺族婦人研修会でこの活動を続けていければと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

合掌

東北教区ボランティアセンターへお茶会支援（菓子送付）精算書

品名	金額	備考
亀甲や20世紀	6,355	100個 送料含む
風流堂 路芝	12,175	84個
風流堂 しんじ湖		80個
来間屋 しょうが糖	3,780	106個
宅急便	1,790	
合計	24,100	

山陰教区仏教婦人会連盟 創立60周年記念大会のご案内

山陰教区仏教婦人会連盟の創立60周年記念大会を教区連盟総会に併せて開催いたします。

期日：2014(平成26)年6月26日(木)

会場：大田市民会館

日程：午前 記念式典・総会 午後 記念講演

記念講演ご講師：田中信勝師（仏婦総連盟講師）

募集人数：1000名（目安としては各単位会より5名のご参加となります）

詳細につきましては5月1日の各組代表委員会の後に各単位会へご案内いたします。



2012(平成24)年度山陰教区寺族婦人会連盟歳計決算

歳入の部

款項	費目	24年度決算	24年度予算	対比△減	説明
1	会費	502,500	499,500	3,000	
1	本年度	502,500	499,500	3,000	1,500円×335
2	過年度	0	0	0	
2	1 助成金	200,000	200,000	0	教区助成金
3	回金	0	0	0	
1	教区より回金	0	0	0	本年度なし
2	特別会計より回金	0	0	0	
4	1 参加費	222,000	140,000	82,000	寺婦研・若寺婦研
5	1 雑収入	0	397	△ 397	
6	1 前年度繰越金	426,103	426,103	0	
	合計	1,350,603	1,266,000	84,603	

歳出の部

款項	費目	24年度決算	24年度予算	対比※超過	説明
1	1 研修費	555,235	600,000	44,765	寺婦研202,500円、若寺婦352,735円
2	1 会議費	305,938	350,000	44,062	監査・代表者会・編集・常任
3	1 事務通信費	120,893	100,000	※ 20,893	郵券料・事務消耗品
4	1 教化費	78,750	80,000	1,250	寺婦のひろば
5	1 回金	30,000	0	※ 30,000	特別会計への回金
6	1 諸費	10,000	30,000	20,000	保育連盟への祝い金
7	1 予備費	0	106,000	106,000	
	合計	1,100,816	1,266,000	165,184	

歳入	1,350,603
歳出	1,100,816
差引残額	249,787

2013(平成25)年度山陰教区寺族婦人会連盟歳計予算

歳入の部

款項	費目	25年度予算	24年度予算	対比△減	説明
1	会費	493,500	499,500	△ 6,000	
1	本年度	493,500	499,500	△ 6,000	1,500円×329単位分
2	過年度	0	0	0	
2	1 助成金	200,000	200,000	0	教区助成金
3	回金	0	0	0	
1	教区より回金	0	0	0	本年度なし
2	特別会計より回金	0	0	0	本年度なし
4	1 参加費	210,000	140,000	70,000	研修会参加費
5	1 雑収入	6,713	397	6,316	
6	1 前年度繰越金	249,787	426,103	△ 176,316	
	合計	1,160,000	1,266,000	△ 106,000	

歳出の部

款項	費目	25年度予算	24年度予算	対比△減	説明
1	1 研修費	550,000	600,000	△ 50,000	寺婦研修会・若寺婦研
2	1 会議費	350,000	350,000	0	代表者会・常任・合同常任
3	1 事務通信費	100,000	100,000	0	郵券料・事務消耗品
4	1 教化費	70,000	80,000	△ 10,000	寺婦のひろば
5	1 回金	30,000	0	30,000	特別会計への回金
6	1 諸費	30,000	30,000	0	
7	1 予備費	30,000	106,000	△ 76,000	
	合計	1,160,000	1,266,000	△ 106,000	

2012(平成24)年度山陰教区寺族婦人会連盟特別歳計決算

歳入の部

款	費目	24年度決算	24年度予算	対比△減	説明
1	前年度繰越金	282,163	282,163	0	平成23年度繰越金
2	雑収入	30,000	837	29,163	一般会計からの回金
	合計	312,163	283,000	29,163	

歳出の部

款	費目	24年度決算	24年度予算	対比※超過	説明
1	翌年度繰越金	312,163	283,000	※ 29,163	平成25年度繰越金
2	回金	0	0	0	
	合計	312,163	283,000	※ 29,163	

2013(平成25)年度山陰教区寺族婦人会連盟特別歳計予算

歳入の部

款	費目	25年度予算	24年度予算	対比△減	説明
1	前年度繰越金	312,163	282,163	30,000	前年度繰越金
2	回金	30,000		30,000	費目新設一般会計からの回金
3	雑収入	837	837	0	
	合計	343,000	283,000	60,000	

歳出の部

款	費目	25年度予算	24年度予算	対比△減	説明
1	翌年度繰越見込金	343,000	283,000	60,000	本年度繰越見込金
2	回金	0	0	0	
	合計	343,000	283,000	60,000	

編集後記

やっと春らしくなってきました。

「記録的暑さ」に「記録的寒さ」「記録的大雪」、昨年夏には島根県西部に大きな被害をもたらした「記録的豪雨」、記録的続きの異常気象に自然界の怖さを知らされた一年でした。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

今年度も二回の寺婦研修会を担当組の方々のご配慮、温かいおもてなしにより有意義に終えることができました。参加されなかつたみなさまにも会の様子やその時行われた事例を知って頂こうと紹介させて頂きました。ぜひご参考になさって下さい。来年度はみなさまとのつながりをもっと広まりますようお願いいたします。

最後になりましたが、ご多用のところ原稿依頼にご協力頂きましたみなさま、ありがとうございました。

